

# CORPORATE PROFILE

 **共英製鋼株式会社**

<https://www.kyoeisteel.co.jp/>

本社 | 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階  
Tel (06) 6346-5221(代) Fax (06) 6346-5330(代)



このパンフレットは、環境にやさしい  
植物油系インキを使用しています。

2106 F 2406 R  
2206 R 2506 R  
2306 R  
2404 R

— *Spirit of Challenge* —

 **共英製鋼株式会社**



# 資源循環で創造する サステナブルな未来。

私たちは、これまで築いてきた鉄資源のリサイクル技術をさらに発展させ、地球環境・自然・地域との共生に取り組みます。

電炉メーカーとしてできることを問い続けながら、100年企業を目指し、未来への挑戦を続けます。

経営理念

## Spirit of Challenge

共英製鋼グループは 鉄鋼事業を中核とした資源循環型事業を通じて社会と共生し 日本経済と地域社会の発展に貢献する企業集団を目指します

行動指針

- 高い倫理観を持ち 公正・誠実を旨として行動します
- 進取と変革 挑戦する気概 達成への情熱に満ちた企業風土を醸成します
- 主観によらず 現場に立脚した感覚を重視します
- 人と技術を大切に し 働くことが喜びであり 誇りとなる企業を実現します



## 強く、優しい 電炉の技術で、 挑み続ける

“鉄”は人々の生活に不可欠な金属として様々な産業分野で活用され、私たちの暮らしを支えています。一方で、鉄を使った製品や構造物(鉄鋼備蓄量)は、日本国内では約14億トンにのぼり、そのうち年間約3,000万トンが、その役割を終えて鉄スクラップとして排出されます。

共英製鋼グループが行う電炉業は、これらの鉄スクラップを原料として再利用し、新たな製品に生まれ変わらせる、「鉄資源循環」の役割を担っています。

また電気炉による生産工程で排出されるCO<sub>2</sub>は高炉の約4分の1と、環境に優しい生産方法であり、カーボンニュートラルなど地球環境への負荷軽減が世界的に求められている現在、電炉メーカーが担う役割はますます大きくなっています。

私たちは、今後も企業としての使命を果たすべく、これまで培ってきた鉄づくりの技術をさらに進化させ、サーキュラーエコノミーと持続可能な社会の実現に貢献します。

## 電気炉をコアとした資源循環型事業をグローバルに展開

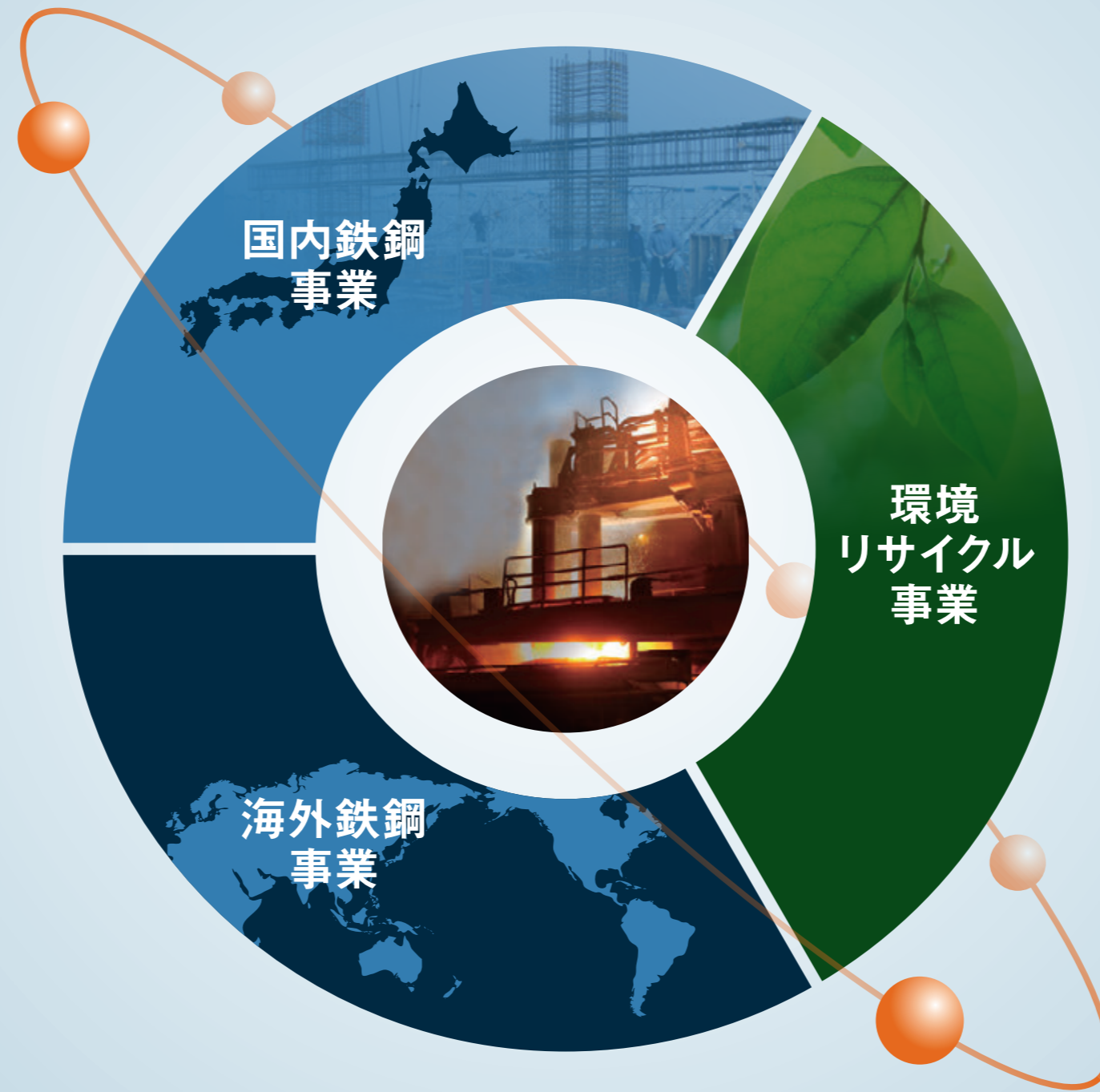
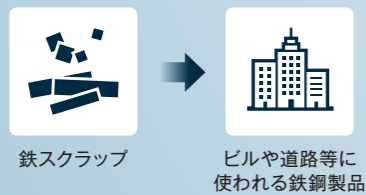
「国内鉄鋼事業」「海外鉄鋼事業」「環境リサイクル事業」を3つの柱とし、さらにその事業領域を広げる「鉄鋼周辺事業」を展開しています。



### “鉄資源のリサイクル”

使われなくなった鉄（鉄スクラップ）を社会インフラを支える鉄鋼製品に甦らせる当社グループの中核事業です。

業界トップレベルの幅広い品揃えの製品群は、ビルやマンション、高速道路、機械部品など、様々な場所で使われ、暮らしと産業基盤を支えています。また、75年以上積み重ねてきた技術とノウハウを活用し、積極的な海外展開を行っています。



### 環境リサイクル事業

#### “産業廃棄物のリサイクル”

様々な廃棄物を安全・確実に処理し、資源として再利用する独自のリサイクルシステムです。

当社グループでは、35年以上前に電気炉による廃棄物処理技術を確立。鉄スクラップを溶かす際に発生する非常に高温なアーク熱を有効利用し、産業廃棄物などを安全・確実に処理します。さらにその一部を資源としてリサイクルしています。



### 鉄鋼周辺事業

#### “事業領域の幅を拡大”

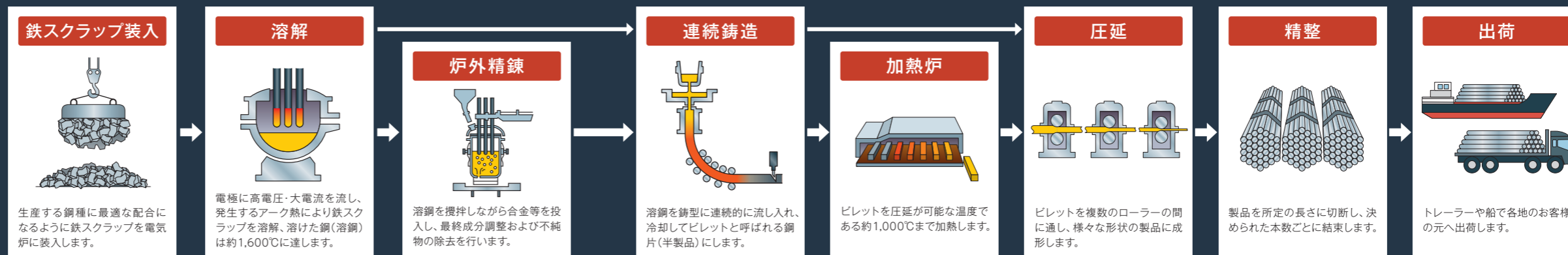
鋳物事業やベトナムでの港湾事業など、鉄鋼事業に関わる分野で、当社グループの事業領域の幅を国内外で拡大しています。

# 社会インフラの構築と 資源の再生・循環を通じて、 持続可能な社会の 実現に貢献



## 生産プロセス

鉄スクラップを電気の力により溶解。不純物を取り除く精錬工程を経てつくられた鋼片を加工成形して鉄鋼製品にします。



# Our Strength

共英製鋼グループの強み

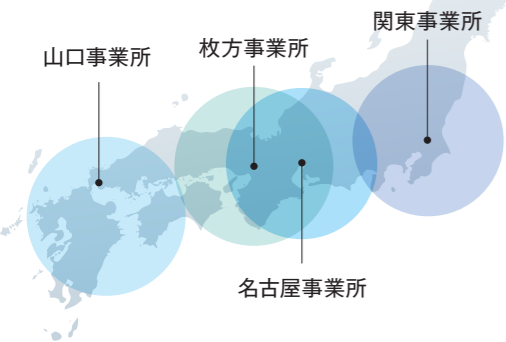
## 1 鉄筋コンクリート用棒鋼、国内シェアNo.1

当社グループは、鉄筋コンクリート用棒鋼の製造・販売量において国内トップシェアを誇ります。

ビルやマンション、高速道路などに広く使用される棒鋼は、私たちの生活には欠かせないものであり、その販売エリアは北海道から沖縄まで日本全国を網羅。また棒鋼のほかにも、平鋼や等辺山形鋼など充実した品種や鋼種・サイズをラインアップし、お客様の多様なニーズにお応えしています。



## 2 地域に根差した事業を展開



鉄は重量物であるため、輸送コストがかさみます。そのため多くの電炉メーカーは、それぞれの地域で発生した鉄スクラップを再生し製品を供給するという、地産地消型のビジネスを展開しています。

当社グループは、鉄筋コンクリート用棒鋼の主要需要地であり、また、鉄スクラップの発生地でもある関東、中部、関西、中国・四国・九州の全てに工場を保有。地域で異なるマーケット動向にも即応できる生産・販売体制により、電炉業界における優位性を確保しています。

## 3 環境リサイクル事業のパイオニア

環境保全や資源循環などを推進するため、電気炉の熱を有効活用しようとの発想からスタートしたのが環境リサイクル事業です。当社グループでは、35年以上前に産業廃棄物や医療廃棄物を完全無害化・リサイクルする技術を独自に開発しました。

廃棄物の適切な処理を通じて、企業市民としての責務を果たしサステナブルな社会の実現に貢献します。

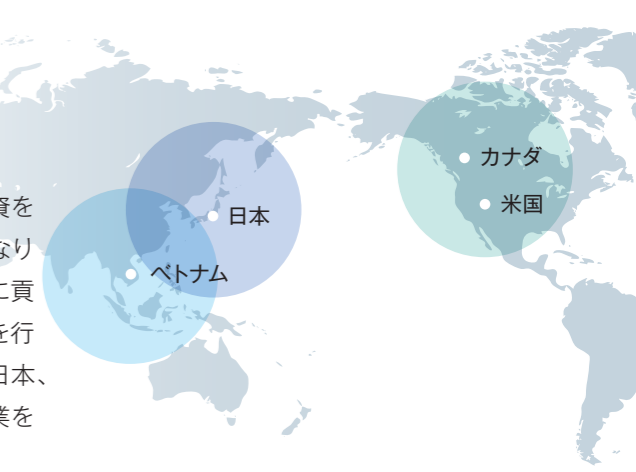


## 4 国内インフラを支えてきた75年を超える歴史

1939年に共英製鋼の前身である共英鍛工所が誕生しました。終戦後の1947年、日本の復興には欠かせない鉄づくりに携わりたいとの思いから共英製鉄を設立し、国内インフラを支え続けてきました。1948年に共英製鋼に社名を変更。国内における業容拡大のみならず、電炉メーカーとして初めて海外に進出するなど数々の挑戦を経て、今では国内屈指の電炉メーカーとしての地位を確立しています。2022年に75周年を迎えた共英製鋼は、先人達の技術と魂を次世代へ受け継ぎながら、100年企業を目指します。

## 5 日本・ベトナム・北米の「世界3極体制」を確立

1963年、台湾において圧延工場の建設・操業に関わる技術指導と出資を実施。それが共英製鋼として、また電炉メーカーとして初の海外進出となりました。以来、「鉄づくりを通じて社会に貢献し、世界のインフラづくりに貢献する」という創業精神を受け継ぎ、世界各国で工場建設や技術指導を行うなど、海外事業の拡充に注力してきました。現在は、中核市場である日本、成長市場のベトナム、成熟市場の北米からなる「世界3極体制」で事業を展開しており、グループのさらなる成長を目指しています。



## 6 次代を創る“人財”を育てる

私たちは創業以来、幾多の壁を乗り越え、日本の鉄づくりを世界で展開してきました。それを可能にしたのは、困難を恐れず道を拓く共英のDNA「Spirit of Challenge」。

連綿と受け継がれてきたDNAを次代につなぐことは、企業成長の要であり私たちの使命でもあります。

私たちは、多様な教育機会と自己実現の場の提供を通じ、次の時代を創る自立型人財の育成に注力しています。



# 鉄鋼事業

Steel Business

## 鉄資源を再生し、社会を支える製品へ

地域で発生した鉄スクラップを電気炉で再生し、製品として送り出す鉄鋼事業は、「地産地消」型のビジネスであり、当社グループの中核事業です。創業以来、75年以上にわたって培った技術力を活かし、国内外で品質の良い製品を安定的に供給しています。



当社グループでは、国内4拠点で鉄鋼製品を生産しています。主力製品は鉄筋コンクリート用棒鋼で、国内シェアはNo.1。多様化するニーズに対応するために、高強度鉄筋をはじめとする高付加価値製品の開発にも注力しています。また、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた設備の導入や、熱間表面疵検出装置などの設置による品質管理の強化など、地球環境との調和と、お客様に安全・安心な製品を提供するための取り組みを進めています。



熱間表面疵検出装置



東海北陸自動車道驚見橋（高さ125mの橋脚を有する高架橋。高強度ネジ節鉄筋を多数納入）



1963年に日本の電炉メーカーとして初めて海外（台湾）に進出し、以降、台湾・タイ・ブラジル・インドネシア・米国等で事業を展開するほか、20ヶ国以上で技術供与や技術指導を行ってきました。長年にわたって蓄積された海外事業のノウハウを活かし、現在はベトナムと北米（米国、カナダ）で事業を展開。海外における地産地消ビジネスを通じて、各国の社会インフラを支えています。



海外事業の実績がある国



ベトナム ノイバイ国際空港（2020年の滑走路拡張工事にキョウエイ・スチール・ベトナム社の製品を納入）

## 社会インフラを支える製品

主力の異形棒鋼のほか、平鋼、Iバー、等辺山形鋼、構造用棒鋼といった形鋼類や、高層マンションや頑健な土木建築物に欠かせない、ネジ節鉄筋・ネジ節鉄筋継手と多種多様です。生産可能な鋼種・サイズはおよそ300種類を数えます。



### ■ 异形棒鋼

「タフコン」の名称で販売する鉄筋コンクリート用棒鋼は当社の主力製品です。強度・抗張力・コンクリートへの付着性に優れ、コンクリート用補強材として、ビル・マンション・橋脚などの建造物に幅広く使用されています。

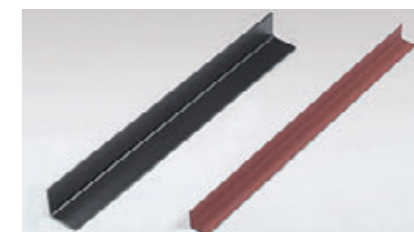
- 用途例
- ・マンション
  - ・橋脚 など



### ■ ネジ節鉄筋

「タフネジバー」は、高層建築や道路・鉄道橋脚をはじめ、鉄筋を使用するあらゆる建造物に対応する高強度ネジ節鉄筋です。鉄筋接合作業を容易にし、工期短縮の実現を図り、RC造建築の一層の高層化を実現しています。

- 用途例
- ・高層マンション
  - ・オフィスビル など



### ■ 等辺山形鋼(アングル)

建造物の補強や受枠、船舶・鉄道の補助部材などに使用される裾野の広い製品です。強度と抗張力に優れ、歪みがなく、加工性も抜群です。環境に優しい塗料により防錆処理を施したカラーアングルも生産しています。

- 用途例
- ・駅舎
  - ・鉄塔 など



### ■ 平鋼

船舶の補助部材、介護ベッドや椅子の補助部材、橋の欄干、建築土木補助部材などの分野で幅広く利用されています。海外主要国の船舶用鋼材の規格を取得しています。

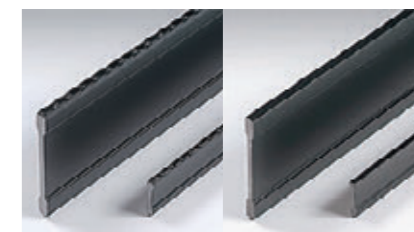
- 用途例
- ・船舶
  - ・機械部品 など



### ■ 構造用棒鋼

建築資材のほか、大型建機、ボルト、ナット、建物の耐震補強材など、多様なニーズに対応しています。用途や目的に合わせた高付加価値製品も生産可能で、自動車部品などにも使用されています。

- 用途例
- ・ブレース材
  - ・アンカーボルト など



### ■ Iバー

住宅やビル、道路側溝の溝ぶた（グレーチング）に使用されています。また工場やプラント・橋梁・船の床板や階段としても幅広く使用され、その実績は国内トップクラスです。すべり止めタイプも生産しています。

- 用途例
- ・溝ぶた など

## 共英製鋼の願いをこめた35年目の新製品

当社グループは、電気炉を用いて医療・産業廃棄物を完全無害化溶融処理しながら鋼材を製造する事業に、35年以上前から取り組んできました。社会課題を解決しながら製品をつくるというユニークな事業について、広く世の中への認知を図るため、このような製品を「エシカルスチール」と名付けることとしました。「エシカルスチール」は、医療・産業廃棄物などを処理しながら製造した鋼材で、かつ、生産から出荷までのトレーサビリティを確保した製品であり、国内の4つの事業所で製造・販売しています。



エシカル  
スチール

# 環境リサイクル事業

Material Recycling Business

## 多様なニーズに応えるリサイクルシステムで、地球環境保全に貢献

鉄鋼事業で培った電気炉での溶融技術を、様々な廃棄物処理に活用するのが環境リサイクル事業です。1988年、電気炉の非常に高温なアーク熱を利用して溶融し、医療廃棄物を無害化する「安全かつ安心な」処理方法を独自に開発、「メスキュードシステム」として事業を開始しました。電気炉の操業技術を活かして廃棄物を無害化処理すると同時に、鉄鋼製品の生産によって発生する副産物も、路盤材の原料等にもリサイクルしています。私たちは、廃棄物の適正処理と資源のリサイクルを通じて、地球環境の保全に貢献します。

### 産業廃棄物処理

注射針などの医療廃棄物の収集・運搬・処理を一貫して行う「メスキュードシステム」を全国的に展開。全国から廃棄物が集荷できる体制を構築しています。PCB廃棄物を除く全ての産業廃棄物の許可を取得。蛍光灯、アスベストやレンガ屑等の難処理廃棄物の溶融処理にも注力し、車載リチウムイオン電池といった企業の製品開発に関わる機密性の高い廃棄物など、高度化・多様化する処理ニーズに対応しています。



\*リフラクトリーセラミックファイバー

### フロンガス破壊処理

電気炉・ガス化溶融炉の高温を利用し、エアコンや冷凍冷蔵機器の冷媒として使用されるフロンガスの破壊処理を行っています。他の破壊施設で敬遠されるSF6やPFCのほかハロンガスの処理も可能。地球温暖化防止に貢献しています。



フロンガス  
(破壊処理設備)

### 自動車リサイクル

自動車リサイクル法関連全ての許可を取得。廃自動車を適正に処理し、鉄鋼製品の原料となる鉄、有価販売される非鉄、サーマルリサイクルされるシュレッダーダストに分別して効率よくリサイクルします。また車載リチウムイオン電池の解体・分別にも対応。処理が難しい車両等も安全・確実に処理しています。



自動車

### 鉄資源回収・リサイクル

全国に展開するチェーンストアの閉店や改装時に排出される商品陳列棚やショーケース、廃棄される自動販売機や大型機械類を回収・解体し、鉄・非鉄・その他の資源に分別してリサイクルする事業を行っています。また小型家電リサイクル法大臣認定を取得。使用済みのパソコンやデジタルカメラ等を精緻に分解し、鉄や銅、レアメタル等を回収しています。お客様の幅広いニーズに対応しながら、限りある資源のリサイクルに取り組んでいます。



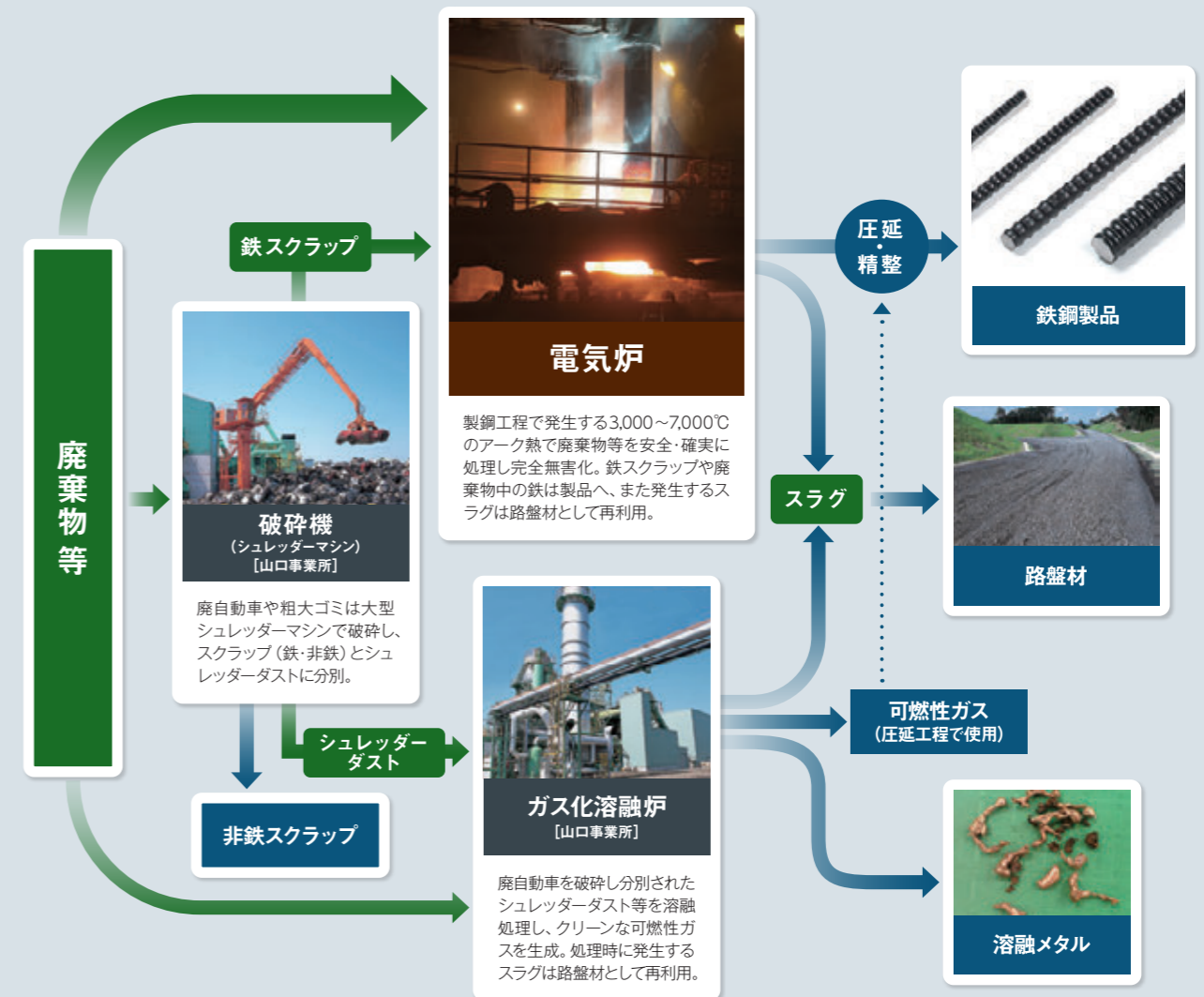
チェーンストア

自動販売機

小型家電

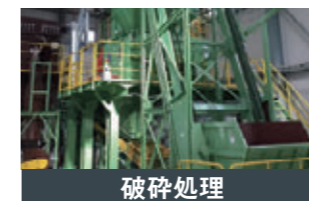
## 電気炉を中核とした総合リサイクルシステム

多種多様な廃棄物等を安全・確実に溶融処理すると同時に資源をリサイクルする、ワンストップ型の総合リサイクルシステムを展開しています。



### その他の主な処理

多種多様な廃棄物を充実した処理設備により、安全かつ安定的に処理しています。



破砕処理

そのままでは処理が困難な廃プラスチック(ロール品等)や廃陶磁器(保温材類)等を破砕し、電気炉などで安定的に処理を可能にします。



トナー加熱処理

トナー粉を約100℃で加熱処理、固形化し、鉄鋼製品の製造工程で副原料として利用しています。



廃液処理

賞味期限切れの飲料水や工業系廃液などを中和処理し、工場内の冷却水として活用しています。

# 共英製鋼 グループの ESG

SDGsの達成に向け、様々なESG活動に取り組んでいます。当社グループでは右記の6項目をマテリアリティ(重要課題)として位置づけ、今後さらにESG活動を強化し、企業の社会価値創造に努めます。



## 快適で安全な 社会のために

人々の暮らしの中で役割を終えた様々な資源のリサイクルを通じて、地球環境保全に貢献し世界のインフラを支えます。



## 美しい 地球環境に向けて

当社グループが発生させる温室効果ガスや副産物を削減するだけでなく、社会で発生する様々な廃棄物をリサイクルすることで、環境負荷の少ない社会の実現に貢献します。



## 価値創造をともにする 皆様の期待に 応えるために

お客様や取引先からの様々な期待と要請に応える製品・サービスを提供することや、環境負荷の低い原料・資材を調達することで、バリューチェーンを通じた社会への貢献を目指します。



## より安全で働きやすい 職場に向けて

労働災害の撲滅や職場環境の整備、多様な人材の登用、柔軟な働き方の採用を通じて、安全で働きやすい魅力的な職場を実現します。



## 地域社会の一員として 貢献するために

様々な地域活動や防災活動など地域への貢献を通じて、当社グループが地域になくてはならない存在となることを目指します。



## より公正で誠実な 企業活動に向けて

経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制と透明性の高い経営システムを構築し、公正で誠実な企業活動を実践することで社会から信頼される存在を目指します。



### 美しい地球環境に向けて

当社グループでは、地球環境との調和やカーボンニュートラル社会の実現に向け、2030年度CO<sub>2</sub>排出量(国内事業拠点)を2013年比50%削減する目標を掲げました。具体策として、エネルギー単位の削減による使用電力量の低減や、環境負荷の低い燃料への転換のほか、再生可能エネルギーの活用などを進めています。2023年末、山口事業所に設置した太陽光パネルが稼働開始し、今までに設置した枚方事業所分と合わせて、総パネル面積は15,235㎡になりました。

CO<sub>2</sub>排出量 (国内生産拠点)  
(千t-CO<sub>2</sub>)



山口事業所東沖エリア

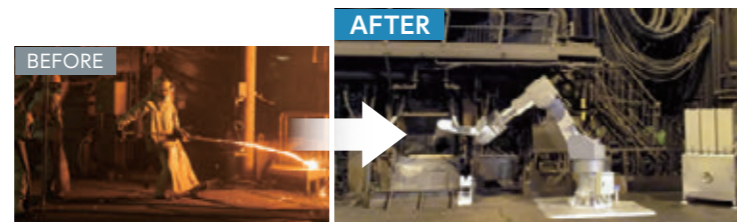


枚方事業所製品倉庫屋根上

### より安全で働きやすい職場に向けて

#### ■ 安全性・生産性の向上

安全で働きやすい職場環境の実現に向け、様々な取り組みを進めています。その一つとして、枚方事業所に测温サンプリングロボットを導入。これまで手作業で行っていた電気炉前での作業をロボットが代替することで、さらなる安全化を実現しました。今後も、新しい仕組みや技術を取り入れながら、安全・安心な職場環境づくりを進めます。



従来の炉前におけるサンプリング作業

ロボットにより自動化

#### ■ 人的資本投資

当社グループの将来を支える「次世代の人材力」を高めるため、人的資本投資に力を入れています。人事評価制度や各種教育プログラムを通じて個々の能力を伸ばす取り組みに加え、2022年に設置した「人材開発室」と「研修センター」を中核に、製造技術の向上や伝承に努めています。また、女性社員の積極的な採用やキャリア支援、育児支援制度の拡充など、女性の活躍を促進する施策も行っています。働きやすい職場環境づくりのため、各拠点の事務所棟・厚生棟の建て替えを順次実施しています。



2023年4月にオープンした社員食堂 (関東事業所)



#### ■ 健康経営

社会の発展と地球環境との調和に貢献する企業を目指すためには、企業の根幹である社員一人ひとりが心身ともに健康であることが何よりも重要であると考え、2021年に「健康宣言」を行いました。一定年齢以上の従業員・配偶者への人間ドックの受診奨励や費用支援、セミナーやアプリを活用した生活習慣指導の実施、有給休暇の取得推進や時間外労働の削減などを行っています。これらの取り組みが評価され、2025年に4年連続で経済産業省・日本健康会議による「健康経営優良法人」に認定されました。



#### ■ 地域防災に配慮した設計の製造拠点施設

2012年に建設された名古屋事業所内の開発センターは、避難ビルとしての機能を備え、地元自治体と協定を締結し、津波一時避難所に指定されています。また、2024年に新たに建て替えた山口事業所の事務所屋上も、地域の緊急避難所「津波避難ビル」に指定されました。



開発センター外観

### 地域社会の一員として貢献するために

#### ■ 寄付活動

2002年、メスキュード事業(医療廃棄物処理事業)に関する収集運搬会社・中間処理会社・処理施設貸与者などの賛同を得て「メスキュード医療安全基金」を設立。医療廃棄物の取扱量に応じて一定額を積み立て、年に一度、国内の医療関係団体に寄付しています。そのほか、教育機関や医療機関、生産拠点のある自治体への寄付、地域行事への協賛など、様々な社会活動を支援しています。



贈呈式の様子

#### ■ スポンサー活動

2023年度よりプロサッカークラブ「レノファ山口FC」を運営する(株)レノファ山口とパートナー契約を締結。クラブミッション「心をつなぎ、感動を届ける」に賛同しJ1を目指す同クラブ(特にアカデミー)を応援しています。



### より公正で誠実な企業活動に向けて

当社グループは、経営の透明性確保とコンプライアンスの徹底を図るため、①企業の社会的責任を自覚したコンプライアンスの持続的な徹底を図ること、②当社株主・従業員をはじめとする当社のステークホルダーに対して公平かつ迅速な情報開示を行い、透明性の高い経営を維持すること、③経営判断に至る過程および結果の説明責任を果たすこと、④合理的な経営判断に基づく経営の効率性を追求すること、を主眼とするコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。経営の監視機能としては、複数名の社外取締役を含む取締役会と独立性の高い監査役会の機能の最大限の発揮に努めるとともに、タイムリーディスクロージャーにより経営の健全性・透明性を確保します。



# 主要需要地で 地産地消ビジネスを展開

日本では関東、中部、関西、中国・四国・九州の大都市が主要需要地であり、国内の鉄筋需要のおよそ7割が集中しています。

当社グループは、この主要需要地全てに生産・販売拠点を保有する唯一の電炉メーカーであり、地域の社会基盤を支えています。



### 1 山口事業所

中国・四国・九州地区の拠点。フルサイズの異形棒鋼、構造用棒鋼、平鋼、Iバー、等辺山形鋼と、多品種・多サイズを生産。また、メスキュードシステムを開発し、様々な産業廃棄物処理を行う環境リサイクル事業の主力拠点です。

山口県山陽小野田市  
ISO9001、14001 取得



### 2 枚方事業所

関西地区の拠点。公害防止のためのクローズドシステムを採用した細物棒鋼専用工場。地下トンネル、圧延レベーターなど限られた敷地を活かした設備を保有。異形棒鋼、丸鋼、構造用棒鋼を生産。環境リサイクル事業も行っています。

大阪府枚方市  
ISO9001、14001 取得



### 3 名古屋事業所

中部地区の拠点。日本初の鉄スクラップの連続予熱・装入が可能なコンスチールシステムを導入。フルサイズの異形棒鋼に加え、高強度ネジ節鉄筋を生産。環境リサイクル事業も行っています。開発センターにて、グループ全社の技術を開発しています。

愛知県海部郡飛島村  
ISO9001、14001 取得



### 4 関東事業所

関東地区の拠点。異形棒鋼、構造用棒鋼を生産し、環境リサイクル事業にも取り組む等、地域リサイクルの中核事業所を目指しています。

茨城県土浦市  
ISO14001 取得

# 成長を支えるグループ会社

グループ各社のシナジー効果の発揮により、さらなる事業基盤の強化や、新たな顧客価値の創出を実現していきます。



### 5 共英産業(株)

産業廃棄物処理、再生製品の販売、鉄筋加工事業のほか、鋼材・製鋼用原料・副資材・土木建設資材・緑化資材等を販売するなど幅広く事業展開しています。

大阪市北区  
ISO9001、14001 取得



### 6 (株)共英メソナ

当社グループ生産拠点の電気炉を活用して医療廃棄物を超高温溶融により完全に処理しています。

大阪市西淀川区  
ISO14001 取得



### 7 共英リサイクル(株)

シュレッダーマシンおよびガス化溶融炉を用いて、廃自動車をはじめとした産業廃棄物や一般廃棄物の完全リサイクルを行っています。

山口県山陽小野田市



### 8 共英加工販売(株)

溶接金網・溶接フープなど鋼材の加工および販売を行っています。

山口県山陽小野田市



### 9 (株)吉年

ネジ節鉄筋用の継手をはじめとした鋳物製品を生産しています。享保3年(1718年)創業。

大阪府河内長野市  
ISO9001、14001 取得



### 10 みどり精密工業(株)

鉄鋼製品の品質向上に資する設備・機器の開発および製造・販売・保守・技術支援を行っています。

神奈川県横浜市



### 11 共英マテリアル(株)

製鋼用鉄屑・アルミ屑・非鉄金属の集荷・加工処理・販売および産業廃棄物の収集運搬・中間処理を行っています。

大阪府堺市



### 12 坪内運輸(株)

保有する30台の鉄筋輸送専用トレーラーにより、名古屋事業所の製品の出荷を行っています。

愛知県海部郡飛島村



### 13 (株)東洋商事

製鋼用鉄屑、非鉄金属の集荷・加工処理・販売および産業廃棄物の収集運搬・中間処理を行っています。

愛知県東海市



### 14 中山鋼業(株)

当社と合同製鐵(株)が同率出資する関連会社です。異形棒鋼、丸鋼、ネジ節鉄筋などを生産。産業廃棄物処理事業も行っています。

大阪市西淀川区  
ISO9001、14001 取得

# 資源循環型事業の グローバル展開を加速

当社は日本で初めて海外へ進出した電炉メーカーとして、世界各国で事業を展開してきました。当社グループの成長の柱として、近年はベトナムにおける鉄鋼事業の拡大や港湾事業への参画、米国への再進出など、グローバル化を加速しています。



## 北米 North America



### 6 ビントン・スチール社

米国テキサス州に位置し、2016年12月に買収。年産23万トンの製鋼圧延一貫工場。異形棒鋼、鉍石粉碎鉄球用丸鋼を生産しています。

米国 テキサス州

## ベトナム Vietnam



### 1 ベトナム・イタリー・スチール社

ベトナム北部に位置し、2018年5月に連結子会社化。本社のあるフンエンに圧延工場（年間生産能力30万トン）、2025年にはハイフォンに新圧延工場（年間生産能力50万トン）を新設し、既存の製鋼工場（年間生産能力60万トン）と合わせた一貫工場として、異形棒鋼、線材を生産しています。

ベトナム フンエン省、ハイフォン市  
ISO9001、14001取得



### 2 キョウエイ・スチール・ベトナム社

ベトナム北部に位置し、2012年3月より操業開始。圧延工場（年間生産能力30万トン）を有し、異形棒鋼、線材を生産しています。

ベトナム ニンビン省  
ISO9001取得



### 3 ビナ・キョウエイ・スチール社

ベトナム南部に位置し1994年設立。1996年より商業生産を開始。2015年より第2工場が稼働し、年間生産能力は90万トン。異形棒鋼、丸鋼、平鋼、形鋼、線材を生産しています。

ベトナム ホーチミン市  
JIS認定工場、ISO9001、14001取得



### 4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社

ベトナム南部のカイメップ・チーバイ港湾地区に位置し2018年1月に操業を開始。隣接するフーミー工業団地で操業するピナ・キョウエイ・スチール社の原料である鉄スクラップや近隣鉄鋼メーカーの製品を中心に取り扱っています。

ベトナム ホーチミン市



### 5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社

1996年1月に設立。2021年2月より新工場が稼働し、年間生産能力は1.2万トン。フォークリフト、工作機械用の部品をはじめとした铸件製品を生産しています。

ベトナム ハイフォン市



### 7 アルタ・スチール社

カナダ西部に位置し、2020年3月に買収。年産34万トンの製鋼圧延一貫工場。異形棒鋼、鉍石粉碎鉄球用丸鋼、鉍石粉碎用丸鋼、平鋼、角鋼、丸鋼を生産しています。

カナダ アルバータ州  
ISO9001、14001取得



## 資源循環型事業を通じて 持続可能な社会の実現に貢献します

当社は1947年の創業以来、「鉄づくりを通じて社会に貢献し、世界のインフラづくりに貢献する」という、実質的な創業者・高島浩一の精神を受け継ぎ、国内外で鉄鋼事業を展開してまいりました。鉄スクラップを原料とし、電気炉を用いて建設用鋼材を主とした製品を再び社会に送り出す当社グループは、社会基盤を支えるとともに鉄資源循環の中心的役割を担っています。

1988年には、社会問題となっていた医療廃棄物の不法投棄への解決策として、電気炉を活用して医療廃棄物の完全無害化熔融処理を行う「メスキュード事業」を立ち上げました。経営理念である“Spirit of Challenge”のもと、「私たちが社会にできることは何か」との思いから生まれたこの事業は、社会や環境との共生を目指し、環境リサイクル事業としてその領域を拡げてまいりました。

現在、「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みが急務となる中で、限りある資源の有効活用が求められる今後の社会にとって、当社グループの資源循環型の鉄づくりは大きな使命と責任を負っています。また、今後のカーボンニュートラル社会・サーキュラーエコノミーの実現や、ステークホルダーの皆様とのさらなる信頼関係の構築のため、ESG活動の強化等を通じ、企業の経済価値向上のみならず社会価値創造にグループ一丸となって取り組むことが重要と考えています。

2025年から、鉄鋼事業と環境リサイクル事業を同時に行う資源循環型事業を営んできた35年にわたる事業をブランド化し、電気炉で医療廃棄物や産業廃棄物等を完全無害化熔融処理しながら製造した鋼材で、かつ、生産から出荷までのトレーサビリティを確保した製品を「エシカルスチール」と名付けました。社会課題を解決しながら鋼材を製造する「エシカルスチール」を通じて、当社の企業価値をさらに高めてまいります。

共英製鋼グループは、世界3極体制で社会の発展と地球環境との調和に貢献する「エッセンシャル・カンパニー」を目指し、「世界のインフラづくりや地球環境保全に貢献する企業」「全てのステークホルダーに貢献する企業」「安全で働きやすい職場づくりを進める企業」「コンプライアンスや品質を重視する信頼性の高い企業」をありたいとし、「100年企業」に向け社業に邁進してまいります。